

特別寄稿

今回、新聞班は「びわ湖トラスト」に所属して琵琶湖の環境保全活動に取り組んでいる本校2年生の佐藤瑠乃(さとう・るの)さんに特別寄稿をお願いしました。

滋賀県立膳所高等学校に在籍する佐藤瑠乃です。今回、私が課外活動として行っている琵琶湖に関する研究活動をご紹介しますと思います。

Science Technology Engineering Mathematics

自分でやりぬく力

科学を探究する力

自然を愛する力

NPO法人びわ湖トラストジュニアドクターにおいて
琵琶湖の環境学習を通じて学んだ3つの力

私は琵琶湖の環境学習とピワオオウムシという琵琶湖の固有種であり世界最大のプラナリアについて、月に一回から数回、"はっけん号"という小さな船に乗り込み琵琶湖に出かけモニタリングし研究しています。

今、世界は人間の欲望によって、自然の摂理が大幅に歪め捻じ曲げられている現実があります。そのことによってできた軋みは、確実に私たちの生活を蝕み、全てを傷つけています。このような中、ピワオオウムシをはじめとする弱者は、最大の犠牲者となっています。私たちの力で現実を変えなければならぬと考えています。学業との両立は厳しいですが、大切な琵琶湖の環境のために、これからはあきらめず研究を続けます。



私はJST(国立研究開発法人科学技術振興機構)次世代人材教育が主催するNPO法人びわ湖トラストジュニアドクター育成塾一期生として、中学一年生の頃から琵琶湖をテーマに様々な環境学習や科学の探究を行ってきました。この学びを通じて、たくさんの方々と知り、成長することができました。

中学生から続けているこれまでのピワオオウムシの研究をホームページにしました。ぜひご覧ください。

<http://sato-shimai.love/>

ピワオオウムシ *Bdellocephala annandalei*

*** この地球上で琵琶湖の湖底にしかいないという 世界最大のプラナリア ***

びわ湖トワ
新しいびわ湖の歌

2018年10月
滋賀県にある認定NPO法人びわ湖トラストが、「新しいびわ湖の歌が欲しい」との子どもたちの声に応え一般公募した38曲から決定したびわ湖の新しい歌です。

歌の力でコロナ禍に強い思いをしている人々の心の支えになりたい。その願いから、2021年びわ湖トワとして、滋賀県内の小中高生に新しい琵琶湖の歌「びわ湖トワ」のDVDの配布するプロジェクトの企画を持ち上げました。そこでジュニアドクター高校生がプロジェクト企画の具体案を提出し、企画を進行しています。びわ湖トラストでの学びを母校であり、同じくSTEAM教育実践校である膳所高校に協力を願い、賛同を得てプロジェクトが進められています。

膳所高校と協力！
新しいびわ湖の歌プロジェクト

SSH Super Science Highschool
Science Technology Engineering Mathematics
STEAM 教育
ART 芸術

国立研究開発法人 科学技術振興機構
JST Japan Science and Technology Agency

ジュニアドクター育成塾
びわ湖トラスト

科学技術人材育成重点校 滋賀県立膳所高等学校
NPO法人びわ湖トラスト

高校生が協力し 学びを 社会に 還元する
STEAM教育がつなぐ滋賀県立膳所高校との連携

- 1 企画・プロジェクト進行は 高校生の力で！
 - 2 STEAM教育の実践的活動
 - 3 琵琶湖に関係深い 伝統音楽を伝え 伝統産業を守る
- 年度内には、滋賀県内の各学校に配布される予定です。高校生の挑戦にぜひ応援をお願いします。
- プロジェクトの特徴として具体的な3本の柱を設定しました。
- ①企画・プロジェクト進行は、高校生の力で！びわ湖トラストジュニアドクターで培ったやり抜く力の実践。②STEAM教育の実践的活動教育を推進する滋賀県立膳所高校との連携。③びわ湖に関係深い伝統音楽を伝え、伝統産業を守る。箏曲の美しい音色で心を癒し、和楽器の魅力伝えたい。箏曲に使用される楽器系は、国内の約8割を占める滋賀県の伝統産業でもあります。

琵琶湖の環境変動と連動したピワオオウムシの消長
湖底モニタリングの最新成果

水中ロボットによる 大規模調査 成功！

琵琶湖の固有種 ピワオオウムシが消えた！

琵琶湖湖底付近の濁度

琵琶湖湖底環境 悪化が懸念！

AUVようざん撮影 ピワオオウムシ

ピワオオウムシから 琵琶湖の 地球の 環境を 見つめる！

2021年7月 水中ロボットでの琵琶湖湖底大規模調査 <日本陸水学会 高校生の部 優秀賞>